



水星が東方最大離角

天空が広がるうぶやまの高原には。爽やかな初夏の風が吹いています。梅雨前で、天候が不順でくっきりした星空は望めませんが、それでもわずかの晴れ間に期待しましょう。

指針コラム (天体情報・見どころ)

6月の星空情報の第3弾は6月16日(火)の水星(-0.6等級)が西の低空で東方最大離角になるという天文現象です。

水星は、太陽系の最も内側を公転している惑星です。このため、水星は見かけの位置が太陽から大きく離れることがなく、見つけやすくなる時期は太陽からの見かけの位置が離れる「最大離角」前後に限られています。

6月16日に水星は東方最大離角となり、この日前後には日の入り直後の西の低空で水星が見つけやすくなります。熊本では5月31日から6月23日までの間、日の入り30分後の水星の高度が10度を超えます。水星を観測できるチャンスです。(次ページへ続く)

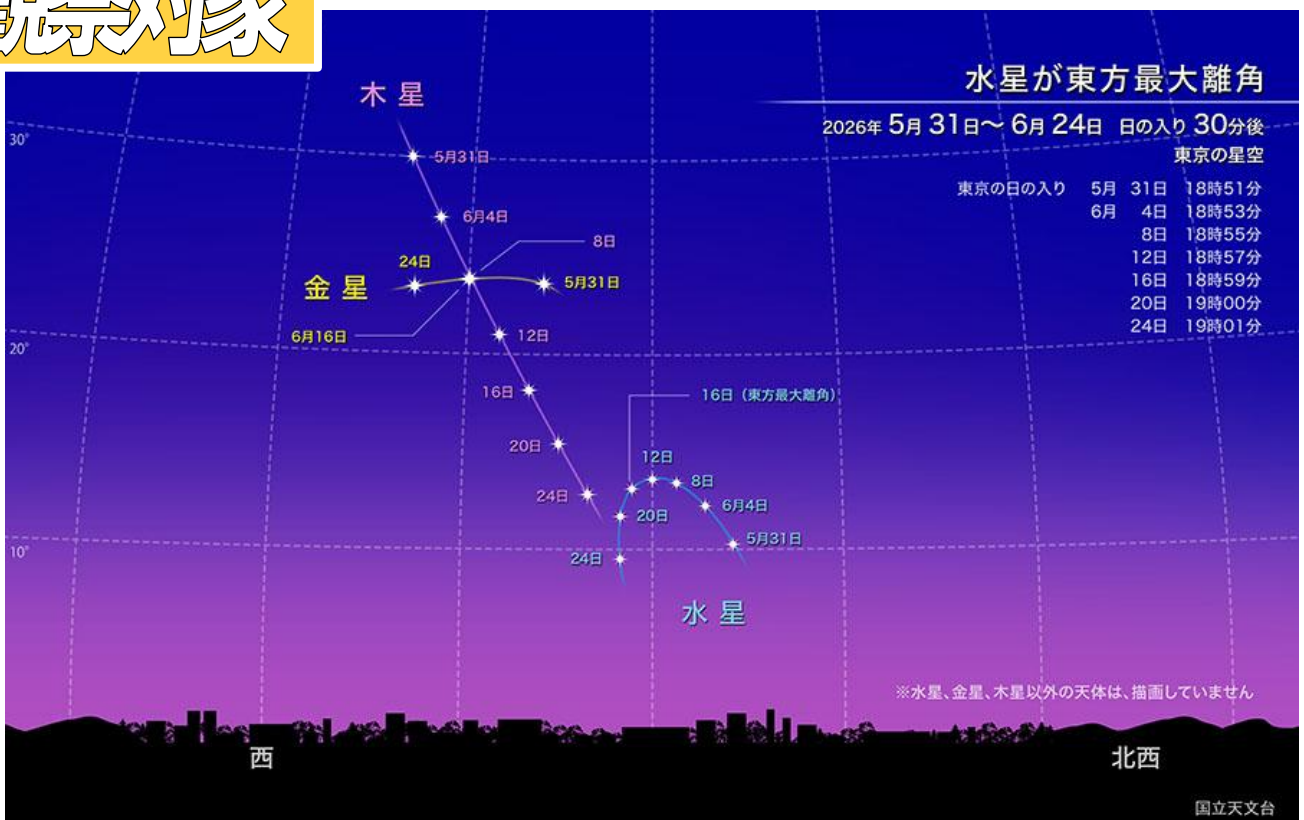
観察対象

水星が東方最大離角

2026年 5月31日～6月24日 日の入り 30分後

東京の星空

東京の日の入り	5月 31日	18時51分
	6月 4日	18時53分
	8日	18時55分
	12日	18時57分
	16日	18時59分
	20日	19時00分
	24日	19時01分



※水星、金星、木星以外の天体は、描画していません

今回の場合、水星よりも高い位置には木星(-1.6等級)と金星(-4等級)がとても明るく輝いています。特に、20日から24日頃には木星と水星が近くなるため、明るい惑星を目印に水星を探してみましょう。

水星は空の低い位置に見えるため、西の空が開けている場所で観察する必要があります。また、低空には雲のないよく晴れた日が観察には最適です。夕焼けが残る空で水星が探しづらい時には、双眼鏡を使うと探しやすくなります。双眼鏡を使う際は太陽を見ないように、太陽が沈んでから観察を始めるようにしてください。

クレジット 2026 国立天文台(NAO)